

2015年第2問

- 2 ひし形 D の 2 つの対角線の長さを $2a, 2b$ とする。 D と同じ周の長さ、および同じ面積をもつ長方形を R とし、その 2 辺の長さを x, y ($x \leq y$) とする。このとき、次の問いに答えよ。

- (1) D の周の長さ s を a, b を用いて表せ。
- (2) x, y を a, b を用いて表せ。
- (3) R の対角線の長さ l と $a+b$ の大小を比較せよ。
- (4) a, b が $s = 4$ を満たしながら動くとき、 l のとりうる値の範囲を求めよ。

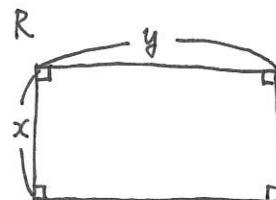
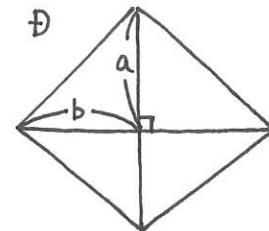
(1) 三平方の定理より。

$$s = 4\sqrt{a^2 + b^2}$$

(2) 長方形の周の長さは $2(x+y)$ であるから。

$$(1) \text{より} \quad 2(x+y) = 4\sqrt{a^2 + b^2}$$

$$\therefore x+y = 2\sqrt{a^2 + b^2} \cdots ①$$

また、 D と R の面積が等しいので

$$\frac{1}{2} \cdot 2a \cdot 2b = xy \quad \therefore xy = 2ab \cdots ②$$

(1), (2) と 解と係数の関係より。

 x, y は方程式 $t^2 - 2\sqrt{a^2 + b^2} \cdot t + 2ab = 0$ の解である。解の公式から $t = \sqrt{a^2 + b^2} \pm \sqrt{(a-b)^2}$

$$\therefore x \leq y \text{ より} \quad x = \sqrt{a^2 + b^2} - |a-b|, y = \sqrt{a^2 + b^2} + |a-b|$$

$$\begin{aligned}
 (3) \quad l &= \sqrt{x^2 + y^2} \\
 &= \sqrt{(x+y)^2 - 2xy} \\
 &= \sqrt{4(a^2 + b^2) - 4ab} \\
 &= 2\sqrt{a^2 - ab + b^2}
 \end{aligned}
 \quad \begin{aligned}
 \therefore l^2 - (a+b)^2 &= 4a^2 - 4ab + 4b^2 - a^2 - 2ab - b^2 \\
 &= 3(a-b)^2 \\
 &\geq 0
 \end{aligned}$$

したがって $\underline{l \geq a+b}$ (等号成立は $a=b$ のとき)

(4) $S = 4$ のとき、 $a^2 + b^2 = 1$ より。 $a = \cos \theta, b = \sin \theta$ ($0 < \theta < \frac{\pi}{2}$) と表せる。

$$\therefore l = 2\sqrt{\cos^2 \theta - \sin \theta \cos \theta + \sin^2 \theta} = 2\sqrt{1 - \frac{1}{2}\sin 2\theta} \quad \therefore \underline{\sqrt{2} \leq l < 2}$$